

# 目次

口絵

序

凡例

総合解説

第一章 支配と村・町

第一節 蔵入と地方知行

蔵入地村方と給知村方／元高と概高／知多郡一円上り知と再知行／除高

第二節 藩の支配と給人の支配

蔵入地村方の支配／給知村方の支配

第三節 年貢・諸役の賦課と徴収

年貢米と麦年貢／御払居米と運賃米／綿布役銀と種々の役銀／調達金と先納金

第四節 村と町

村と町並みの運営／村・町で起こる紛争／村・町の経済／村・町の商人たち

第五節 領主と地域の関わり

諸町村のなりたちと由緒／藩主の休憩所／藩主巡覧／御狩と御殿

第二章 山・川・新田

157

第一節	山林	158
御林・定納山・平山／山の管理／山入会・山境争論／山同心／獵師		
第二節	雨池	184
雨池／雨池の築立／雨池の利用		
第三節	川・用水・排水	199
河川の管理／杵・橋／用排水／井領米／水をめぐる村々の結合／水をめぐる争い		
第四節	土地を拓く	220
新田開発／新田経営／塩田		
第五節	災害とその復旧	241
洪水・破堤／地震／その他の災害／復旧		
第三章	産業	265
第一節	農業・塩業	266
農業／塩生産		
第二節	特産品の生産	279
醸造業／木綿業／窯業／産物		
第三節	職人と諸稼ぎ	326
大工・瓦職／鍛冶と黒鋏		
第四章	交通・流通	335

第一節	陸上交通と河川舟運	336
第二節	下街道と瀬戸街道／東海道／美濃路／河川交通	
第二節	商人と流通	378
商家経営／新田経営／領主と商人		
第三節	金融と相場	388
質商と貸金／貨幣と物価／頼母子		
第五章	寺院と神社	407
第一節	寺院の組織と運営	408
寺院の組織・由緒・運営／式内社ほかの由緒・運営／神職身分		
第二節	地域社会と寺院	448
キリシタン禁制／広域の神社祭祀／地域に根ざす信仰		
第六章	生活	483
第一節	家	484
由緒と家格／家の相続		
第二節	生涯	513
人の一生／通過儀礼		
第三節	暮らし	531
暮らす／働く／楽しむ／一年の暮らし		

第七章 社会 ..... 559

第一節 集団・身分 ..... 560

さまざまな身分／社会的諸集団

第二節 社会の動揺と秩序 ..... 567

さまざまな事件／社会の動揺・変容／秩序の維持

第三節 幕末期の情勢 ..... 606

海防／政治情勢と地域

第八章 文化 ..... 631

第一節 教育と嗜み ..... 632

教育／書籍／諸芸

第二節 文芸 ..... 650

第三節 医療 ..... 657

第四節 人々の楽しみと来訪者 ..... 666

名古屋近郊の行楽地／興行

第五節 祭礼と民俗 ..... 694

万歳／祭礼／農耕儀礼

第九章 海村 ..... 719

第一節 海をめぐる支配 ..... 720

海と漁業の支配／役の負担と運上／破船の救助と留木	
第二節 海村の暮らし	738
漁業と経営／漁場と浜をめぐる争い	
第三節 島の暮らし	761
島民の暮らし／流人の暮らし／島の記録	
第十章 廻船	791
第一節 船をとりまく環境	792
船の支配／廻船仲間・諸規定／買船と造船	
第二節 船の航海と取引	826
廻船経営と取引／伊勢湾をめぐる船	
第三節 海難と信仰	852
難船／船と信仰	
解説	859
史料群解説	957
あとがき	977
執筆分担	979
資料提供者及び協力者	980

愛知県史編さん関係者名簿	982
掲載史料編年一覧	989

# 細目次

## 第一章 支配と村・町

### 第一節 蔵入と地方知行

#### 一 蔵入地村方と給知村方

- 1 春日井郡中品野村方書上写(寛文十一年八月)……………16
- 2 知多郡横須賀村年貢割付状(天明四年十一月)……………18
- 3 知多郡須佐村および中須村蔵入地など書上写(抄)  
(延宝七年改)……………20
- 二 元高と概高
- 4 春日井郡寺野村元高および概高書上帳写(寛保四年二月)……………23
- 三 知多郡一円上り知と再知行
- 5 成瀬大和守知多郡古見村再知行につき仰せ渡し書写  
(宝曆四年八月)……………24
- 四 除高
- 6 加藤因書助より知多郡加家村宛年貢割付状  
(文政八年十二月)……………25

### 第二節 藩の支配と給人の支配

#### 一 蔵入地村方の支配

- 7 年貢納入心得方につき尾州郡奉行より知多郡蔵入地村々庄屋宛  
触書写(元禄四年十月)……………26
- 8 知多郡上野間村百姓欠所につき持高下渡し申付け状写  
(文化十四年正月)……………27
- 9 宗門改帳組込先変更を求める春日井郡清須村鍋屋分百姓より清  
須代官所宛願書控(弘化三年十二月)……………28

#### 二 給知村方の支配

- 10 春日井郡中品野村入百姓の組庄屋任命は村法違反につき同村他  
組庄屋より給人宛願書写(午十一月)……………29
- 11 知多郡師崎村百姓困窮につき給人より村入用削減申渡し帳  
(享保十五年六月)……………30

### 第三節 年貢・諸役の賦課と徴収

#### 一 年貢米と麦年貢

- 12 知多郡大野村亥年分年貢皆済目録(慶長十七年十一月)……………37
- 13 春日井郡小牧村年貢金請取状(万治二年十二月)……………37
- 14 知多郡矢田村年々旱損の田方を検見引にて畑方とする旨尾州郡  
奉行より仰せ渡し書(宝永四年四月)……………38
- 15 春日井郡勝川村麦作水腐れにつき麦成金の米納振替を求める大  
代官役所宛願書写(辰四月)……………38
- 16 知多郡寺本増麦分十年間米納振替を求める横須賀代官所宛願書  
控(天保十二年三月)……………39
- 17 近親の未進分皆済請け難きにつき春日井郡鹿田村給知百姓より  
給人宛一札(享保八年九月)……………42
- 二 御払居米と運賃米
- 18 知多郡小鈴谷村寅年年貢を御払居に申し付ける旨横須賀代官所  
より申渡し書(寛政七年五月)……………42
- 19 知多郡小鈴谷村御城米の御払居を求める横須賀代官所宛願書控  
(文化十二年九月)……………43
- 20 当年御払居米の扱いにつき知多郡大野村庄屋より勘定奉行所宛  
願書控(天保十二年十二月)……………43
- 21 運賃米代金村預けに下さるよう知多郡寺本の庄屋より横須賀代  
官所宛願書写(文化九年四月)……………44
- 22 運賃米代金預け先を御金場へ変更申渡しにつき知多郡両浦惣代  
より再考願書控(弘化三年四月)……………44

23	知多郡一色村会所修復費不足分に運賃米代をあてたき旨横須賀代官所宛願書控（天保十三年三月）……………	47
24	知多郡生路村郷藏普請費用に運賃米代をあてる旨鳴海代官より申渡し書（文久元年六月）……………	48
25	御払居運賃米代廃止を求めたる知多郡戸長らより額田原知多郡出張所宛願書写（明治五年正月）……………	48
26	三 綿布役銀と種々の役銀 春日井郡内津村綿布役銀納入女性増減書上帳控（享和三年八月）……………	49
27	春日井郡小牧村鷹餌犬米請取状（正保四年十二月）……………	50
28	知多郡前山村諸上納金請取通帳（天保九年）……………	50
29	四 調達金と先納金 尾張藩財政難につき評定所へ領内村々の惣代を呼び集め年寄衆より仰せ渡し書写（嘉永六年正月）……………	51
30	春日井郡玉野村給人上り知につき組庄屋らより水野代官所宛願書控（安政五年十一月）……………	53
<b>第四節 村と町</b>		
一 村と町並みの運営		
31	知多郡追分村諸役仕法帳写（文化六年十月改）……………	54
32	知多郡半田村庄屋役引継ぎにつき村方諸帳面目録（文政四年十二月）……………	57
33	知多郡常滑村ほか三か村儉約につき議定書（文政二年五月）……………	58
34	春日井郡清須村諸願達控（抄）（天明から文政年中）……………	60
35	春日井郡下小田井村六軒町免割仕法心得書（天保八年十二月）……………	71
36	春日井郡古小牧村清九郎ほか上街道小牧宿裏町への引越費用を求めたる庄屋宛願書（寛文八年八月）……………	76
37	知多郡大野村鍛冶町町役負担につき庄屋宛願書（享保十九年五月）……………	77
二 村・町で起こる紛争		
38	愛知郡岩作村新田井道替地をめぐる本郷との争論につき水野代官所宛願書控（天明五年十月）……………	78
39	上街道小牧宿六斎市における魚類市立につき済口証文写（天保十一年八月）……………	79
40	村方争論再発につき知多郡大脇村兼帯庄屋より勘定奉行所宛願書写（未正月）……………	83
41	知多郡常滑村反別書上は分村助長のため差上御免を求めたる横須賀代官所宛願書写（二月）……………	84
三 村・町の経済		
42	知多郡常滑村下用帳（文化十五年正月）……………	85
43	春日井郡内津村下用帳（巳正月）……………	88
44	知多郡上野間村鵜の肥代を秋葉山へ寄進しその利息を代参費とする取極め書（安政元年十一月）……………	89
45	越高懸け米をめぐる給人役所からの打診に対する知多郡成岩村西成岩分東組より返答書写（寅七月）……………	89
46	春日井郡小牧村家屋敷売渡し証文（天保八年十一月）……………	90
47	春日井郡清須村神明町分の家屋敷買流れ譲り渡し証文（安政五年七月）……………	91
48	知多郡大野村田地譲り受け証文（嘉永三年八月）……………	92
四 村・町の商人たち		
49	上街道小牧宿人形芝居興行につき大代官役所宛願書控（宝暦三年三月）……………	92
50	春日井郡下小田井村市町青物市田緒につき寛書（寛政六年十月）……………	93



51	知多郡西浦村々より熱田渡船乗合賃につき一件留 〔文政九年から十年〕……………	98
52	横須賀代官所払下げ衣類に対する知多郡横須賀町方商人からの 見積書〔文久二年五月〕……………	101
53	春日井郡清須村伊勢町分借家人甚左衛門請状〔天保五年八月〕……………	103
54	春日井郡清須村田中町分万屋おのぶ控借家家賃取立覚書 〔弘化四年九月〕……………	104
55	春日井郡清須村伊勢町分風呂屋譲り渡し証文引替証文 〔文久二年七月〕……………	105
56	搦麦を知多郡横須賀町方与助へ売り渡すにつき鳴海村助左衛門 より鳴海代官所宛願書控〔亥十月〕……………	105
57	知多郡小鈴谷村諸商売書上帳写〔寛政十年四月〕……………	106
58	知多郡常滑村市場分諸商人職人軒数書上写〔天保二年三月〕……………	108
59	知多郡村木村三八市出店場所代書上〔文久元年十一月〕……………	109

第五節 領主と地域の関わり

一 諸町村のなりたちと由緒

60	小牧山日記……………	113
61	春日井郡清須朝日村御樹木屋敷由緒書〔元禄元年〕……………	115
62	村中渡世向のため金子無利子にて借用につき春日井郡内津村よ り国方役人宛願書控〔延宝四年五月〕……………	118
63	春日井郡勝川村諸事留帳〔明和七年八月〕……………	119
64	春日井郡勝川村ほか五か村より下街道筋准宿御免願書控 〔明治初年〕……………	128
65	春日井郡瀬戸村陶器之伝〔抄〕〔享保十年〕……………	129
66	知多郡常滑村諸事留帳控〔文久三十年十月〕……………	135

二 藩主の休憩所

67	藩主中山道参府小休の請書を差し出すよう春日井郡春日井原新 田安藤五兵衛宛達〔嘉永七年二月〕……………	141
68	藩主中山道参府旅行につき春日井郡春日井原新田安藤五兵衛宛 通達〔嘉永七年二月〕……………	141
69	藩主上京風聞につき春日井郡春日井原新田安藤五兵衛より小牧 代官宛小休の願書写〔文久三年五月〕……………	141
70	御成御殿修復の仰付けを求める知多郡大野村彦左衛門より国方 役人宛願書写〔享保十一年十一月〕……………	142
71	藩主御成の節知多郡大野村御目見の者および献上物などについ ての届書〔享保十八年八月〕……………	142
72	藩主鹿狩の節諸士および村々役割につき書上 〔延享四年十二月〕……………	143
73	藩主御鷹野御成の節御目見の者共につき届書 〔安永四年十一月〕……………	149
74	小鳥殺生村請延長につき春日井郡西尾村庄屋らより御鷹野方役所 宛願書控〔嘉永七年九月〕……………	149
75	御鷹野御供揃の節御先立につき真野政次郎らより清須宿日下部 善左衛門宛書状〔十二月〕……………	150
76	小鳥殺生札拝借につき請証文案……………	151
77	藩主湯治御成の節案内につき知多郡加木屋村久野家書上帳 〔安永四年八月〕……………	151

第二章 山・川・新田

第一節 山林

一 御林・定納山・平山

78 知多郡宮津村定納山反敷帳（元禄八年四月）……………158

79 半定納山の平山戻しにつき知多郡小鈴谷村庄屋より国方代官宛願書控（享保十七年九月）……………158

80 新定納山年貢米につき春日井郡小牧村庄屋より御林方役所宛請状写（宝暦二年十一月）……………159

二 山の管理

81 知多郡名和村百姓持山永代売渡し証文（寛永十九年十二月）……………159

82 知多郡小鈴谷村庄屋山年貢皆済状（寛永二十一年十一月）……………160

83 春日井郡勝川村百姓定納山永代売渡し証文（元禄十六年五月）……………160

84 山方法度につき知多郡小鈴谷村惣百姓より山廻役人宛請書写（元禄十七年二月）……………160

85 山方野方奉行より知多郡緒川村宛年貢添免定（明和二年十一月）……………162

三 山入会・山境争論

86 春日井郡内津村山入会をめぐる美濃国土岐郡大原村との争論につき届書控（申二月）……………163

87 知多郡寺本との山入会争論内済につき同郡敷村庄屋らより山奉行宛請書写（慶安三年七月）……………164

88 春日井郡西尾村との山入会争論における申し分につき同郡内津村百姓ら連判請書（辰二月）……………165

89 愛知郡米野木村百姓が同郡岩作村山へ入込みにつき同村庄屋らより詫び証文（寛政四年十二月）……………166

四 山同心

90 山役手当支給につき春日井郡下大留村楢垣孫左衛門より御林方役所宛願書写（寛政四年二月）……………167

91 春日井郡下大留村山方同心日記（嘉永七年正月）……………168

92 山方同心平生心得などにつき覚書（西六月）……………181

五 獵師

93 獵師増人につき御林奉行宛願書雛形（天明七年）……………182

94 獵師届などにつき春日井郡八田新田庄屋留書（弘化二年六月）……………182

95 知多郡上野間村獵師六治郎勤め方につき同村より横須賀代官所宛鉄砲覚書控（嘉永七年三月）……………183

第一節 雨池

一 雨池

96 知多郡小鈴谷村雨池書上帳（天明七年十二月）……………184

97 入鹿池水高定（抄）……………185

二 雨池の築立

98 知多郡小鈴谷村新雨池敷地の覚書（寛文八年九月）……………188

99 知多郡松原村山田二又大池堤普請記録（抄）（嘉永七年八月）……………189

三 雨池の利用

100 知多郡須佐村雨池敷地および井懸書上帳写（天明八年六月）……………197

101 知多郡半田村雨池杖伏替につき鳴海代官所宛井懸書上（寛政八年十一月）……………199

第三節 川・用水・排水

一 河川の管理

102 春日井郡九之坪村ほか新川開削にて出水防止につき清須代官所宛礼状写（天明八年八月）……………199

細目次

103	大山川瀬邊につき起返地年数引替地など申渡し書(抄)	200
104	春日井郡寺野村丹羽助十郎ら五条川通堤引請人申付け状(嘉永四年八月)……………	201
105	十ヶ川瀬邊をめぐる知多郡英比谷周辺村々取替し証文写(安政二年八月)……………	202
106	二 杵・橋	
107	知多郡小鈴谷村杵水門樋など書上帳(安永九年十一月)……………	204
108	知多郡大野村橋掛替諸用日記(寛政元年六月)……………	205
109	横須賀代官所宛知多郡寺本の兩池杵守書上写(文化九年四月)……………	207
110	知多郡東阿野村尾三御境橋につき橋守役同様丸八印纏の使用を求める往還方役所宛願書写(亥六月)……………	207
111	三 用排水	
112	春日井郡今村新伊新田武右衛門ら控の定納田用水引水につき取替し証文(天保五年四月)……………	208
113	新規用水引込みにつき名古屋中嶋屋彦兵衛より知多郡追分村庄屋宛地所永代借請け証文(安政六年)……………	209
114	海東郡藤高前新田前に新田築立に伴い水落など調査につき申渡し書(嘉永五年四月)……………	209
115	四 井領米	
116	新々田用水井領米譲り渡し証文(明和元年閏十二月)……………	210
117	春日井郡稲生新井道筋など井領米書上……………	211
118	五 水をめぐる村々の結合	
119	知多郡宮津村ほか輪中杵割帳(明和八年四月)……………	213
120	古木津および新木津井組高書上帳(抄)(文化十三年二月)……………	214
121	六 水をめぐる争い	
122	春日井郡上品野村用水配水をめぐる同郡中品野村との争論和解連判証文写(享保十五年六月)……………	218
123	知多郡横根村と三河国碧海郡小山村との土場をめぐる争論につき取替し証文控(天保四年五月)……………	218
124	第四節 土地を拓く	
125	一 新田開発	
126	新田見立の件につき知多郡小鈴谷村請書控(元禄七年七月)……………	220
127	知多郡半田村新田開発覚書(抄)(元禄七年から八年)……………	221
128	知多郡北条村瀬木村地先新開再築一件につき清須御園神明社神主より願書控(西十月)……………	223
129	知多郡西億多新田作小屋住居人別改帳(天保三年から七年)……………	224
130	知多郡龟洲新田百姓引請け証文(天保十三年二月)……………	227
131	二 新田経営	
132	入鹿新田法度定書(承応二年十二月)……………	227
133	春日井郡鹿田村長右衛門より同郡九之坪村半七宛入鹿新田売渡し証文写(享保十三年十二月)……………	229
134	入鹿新田村々高書上帳……………	230
135	知多郡小鈴谷村山新田免付および取米など書上控……………	230
136	知多郡名和前弥八新田を浅山新田と改称につき申渡し書写(天和二年八月)……………	234
137	知多郡乙川新田など引渡しにつき書上(文政八年十二月)……………	236
138	小栗三郎左衛門半田村山方新田取締役勤仕につき鳴海代官所宛願書写(文久二年閏八月)……………	237
139	三 塩田	
140	知多郡乙川村孫市より同郡下半田村半左衛門宛塩浜譲り渡し証文(文化二年六月)……………	238
141	知多郡乙川村塩浜分水徳(金書上帳(抄)(文化九年九月)……………	239

133	知多郡長尾村塩浜願につき鳴海代官より申付け書 (天保六年閏七月) ……	240
<b>第五節 災害とその復旧</b>		
一 洪水・破堤		
134	春日井郡内津村川欠箇所見分を求める願書写(元禄十年五月) ……	241
135	庄内川水害記録(明和四年・安永八年) ……	242
136	知多郡小鈴谷村風雨による田畑被害書上写(元文元年八月) ……	243
137	知多郡名和前新田潮入被害につき横須賀代官所宛書上写 (安政二年九月) ……	243
二 地震		
138	知多郡小鈴谷村宝永地震被害につき山方野方奉行宛書上写 (宝永四年十月) ……	244
139	安政地震による尾張国村々農家田畑被害書上帳(抄) (安政二年) ……	245
三 その他の災害		
140	知多郡小鈴谷村獣害につき郡奉行所宛鉄砲所持許可願下書 (丑五月) ……	254
141	春日井郡西尾村旱害被害につき水野代官所宛書上写 (安政二年七月) ……	255
142	知多郡藤江村虫害につき年貢米払居を求める鳴海代官所宛願書 写(慶応三年九月) ……	255
四 復旧		
143	庄内川普請記録(抄)(天明年間) ……	255
144	知多郡上野間村河口石猿尾普請記録(文化十三年十一月) ……	261
145	春日井郡瀬古村地先御囲堤見分につき大代官役所宛願書写 (慶応二年十月) ……	264
149	知多郡乙川村塩浜入用勘定帳(文化十三年十二月) ……	273
<b>第二章 産業</b>		
第一節 農業・塩業		
一 農業		
146	春日井郡田楽村農事仕法書(文久二年) ……	266
147	春日井郡市之久田村農事覚書(弘化三年から元治二年) ……	268
148	春日井郡岩崎村農事仕法書 ……	269
二 塩生産		
第二節 特産品の生産		
一 醸造業		
150	知多郡小鈴谷村久左衛門酒造につき書上(天和元年十月) ……	279
151	知多郡一色村の酒造家に伝わる酒の再生などに関する仕法書 ……	279
152	知多郡小鈴谷村酒造家久左衛門伊勢国および地売り小売酒相場 書上写(文政九年二月) ……	281
153	知多郡酒造家醸造高書上帳写(万延二年十一月) ……	283
154	知多郡有脇村酒造家神谷惣助旧持分家屋敷売渡し証文 (明治三年十一月) ……	286
155	春日井郡下小田井村綿屋又兵衛自身の名前での味噌焼酎仲間公 認を求める願書控(寛政七年十月) ……	289
156	春日井郡下小田井村金沢屋与左衛門はか味噌醬油商売筋取締り 方定書(文政元年五月) ……	291
157	知多郡大野村三河屋味噌原料仕入帳(抄)(明治四年) ……	292
158	知多郡半田村又左衛門岡崎藩領内酢送り再開につき中野半六よ りの願書写(文政四年四月) ……	295

175	常滑焼急須ほか注文書(三三三)……………	316	189	知多郡成岩村南村分他所黒鋏稼ぎ書上帳(天保十年正月)……………	333
174	須賀代官所宛願書写(文久二年四月)……………	314	188	地割工よりの工費請求につき支払いの受取書(安政四年)……………	332
173	梅干入れ壺仕様書(安政七年正月)……………	313	187	知多郡奥田村の者が請け負う備前国邑久郡牛窓村紺浦塩浜開発仕様書写(寛政四年正月)……………	330
172	常滑焼竈売買書上(嘉永三年から文久二年)……………	312	186	河内国狭山池普請を尾張者へ依頼につき覚書写(延享五年二月)……………	330
171	三 窯業		185	知多郡大野村農鍛冶にて他所稼ぎの者届書控(明治四年三月)……………	329
170	知多郡西浦紺屋職法定留帳(嘉永四年・明治三年)……………	308	184	尾張藩江戸積御用瓦患瓦多数につき用捨願いおよび再輸送の覚書(安政四年)……………	327
169	出荷晒代の増銀につき晒屋職中より木綿問屋宛願書(丑四月)……………	307	183	おみくじによる本社拝殿建築棟梁選考結果書上……………	326
168	知多郡草木村晒会所岡田村に移転につき同郡岡田村孫太郎ら約定証文(安政五年七月)……………	306	182	愛知郡長久手村辺で出炭につき石炭埋蔵状況を問う鳴海代官所よりの触書と返答書写(午十二月)……………	325
167	知多郡有松村服部清兵衛ら他所綿織立のため江戸問屋への周旋につき礼状(五月)……………	305	181	春日井郡西尾村砂糖製造につき水野代官所宛届書写(天保十一年二月)……………	325
166	知多郡木綿買次問屋浜島伝右衛門開店勘定帳(嘉永六年九月)……………	304	180	知多郡亀崎村新兵衛砂糖製造許可を求める鳴海代官所宛願書写(天保七年十月)……………	321
165	木綿仲買清須組買出し人別帳(天保九年十月)……………	302	179	春日井郡赤津村竈屋瀬戸物販売不振のため拝借金年賦返済の願書控(文久元年六月)……………	320
164	木綿取引に関する定書(天保二年十月)……………	301	178	春日井郡西尾村瀬戸物商信州にて剥ぎ取り被害につき同村庄屋らよりの請書写(安政三年二月)……………	320
163	清須口木綿仲買定書(天保二年八月)……………	301	177	江戸上納染付焼物仕切書(明治二年九月)……………	318
162	御用金百両賦課につき知多郡木綿肝煎らより下組木綿仲買衆中宛約定書下書(弘化二年三月)……………	299	176	春日井郡瀬戸村竈屋らよりの尾州瀬戸物御蔵元取締役麻屋禎助宛の借用証文(文政から天保)……………	316
161	株仲間解散令以降の木綿流通につき国産会所を通じた取締り強化を命じた触書写(天保十四年九月)……………	296			
160	株仲間解散令以降の木綿流通につき国産会所を通じた取締り強化に対する請書控(天保十四年九月)……………	298			
159	知多郡岡田村源助木綿買次問屋株譲り渡し証文写(文化四年四月)……………	296			

第三節 職人と諸稼ぎ

一 大工・瓦職

四 産物

第四章 交通・流通

第一節 陸上交通と河川舟運

一 下街道と瀬戸街道

190 信濃国ほかへの他国商いおよび参詣に関する届書  
 (寛政八年から九年)……………336

191 春日井郡内津村人馬繰送りの馬および駕籠かきに関する願書写  
 (寛政六年正月)……………339

192 春日井郡大永寺村諸事駄賃帳 (寛政六年正月)……………341

193 春日井郡下品野村はかと信濃国伊那郡浪合村はかとの中馬稼ぎ  
 争論内済証文写 (文政九年九月)……………350

二 東海道

194 知多郡東阿野村三田家朝鮮人御用御触状留帳 (宝暦十四年)……………352

195 知多郡東阿野村三田家大名ら小休につき接待書上 (天保三年)……………355

196 知多郡東阿野村にて草鞋および馬沓商売の愛知郡間米村の者よ  
 りの強盗被害届 (卯四月)……………356

三 美濃路

197 美濃路清須宿定助郷村書上帳 (元禄六年二月)……………357

198 美濃路清須宿旅籠代および駄賃銭など取極めの請書下書  
 (正徳四年九月)……………358

199 美濃路清須宿入用および請払い勘定帳 (文政五年十二月)……………360

四 河川交通

200 尾張領渡船場記録 (抄) (宝暦九年以降)……………362

201 春日井郡新川丈助持船艀船を抵当にした借用証文  
 (文政十一年十二月)……………377

第二節 商人と流通

一 商家経営

202 春日井郡下小田井村青物問屋定書 (文政十二年正月)……………378

203 春日井郡下小田井村万物問屋由緒の書付下書  
 (文政十三年三月)……………379

204 株仲間解散令以後の青物穀類商売混乱につき大代官役所より触  
 書 (弘化三年九月)……………380

205 知多郡長尾村三井伝左衛門家亀崎出店勘定帳  
 (文政十三年七月)……………381

206 愛知郡香掛新田中島金右衛門家商用壁書 (慶応四年四月)……………383

二 新田経営

207 知多郡半田村又左衛門同村小栗三郎兵衛宛三河国碧海郡前浜新  
 田譲り渡し証文 (安政三年十二月)……………384

208 運上金上納につき三河国幡豆郡西小柳新田支配人より半田御主  
 人様宛書状 (明治四年十月)……………386

三 領主と商人

209 知多郡横須賀支配所町村々への調達金および諸商売に関する触  
 書写 (天保十五年十一月)……………386

210 知多郡木綿買次問屋よりの調達金書上 (戊六月)……………387

第三節 金融と相場

一 質商と貸金

211 知多郡小鈴谷村久太夫藩主御成の節の新代金など前金にて受取  
 り証文控 (寛文十年四月)……………388

212 紀伊国長島浦樋口儀左衛門らより知多郡内海坂田文次郎宛借用  
 証文 (寛延四年五月)……………389

213 春日井郡勝川村長谷川家質物覚帳 (抄) (天明六年正月)……………389

214 知多郡東浦質職よりの冥加金上納の書上控 (明治四年二月)……………394

215	知多郡西浦古手職締役よりの古手職仲間定書（卯六月）……………	397
216	知多郡加木屋村質職高津屋冬物質品交換預り覚（午六月）……………	397
	二 貨幣と物価	
217	春日井郡下小田井村肥物値段段書上帳（文政五年から九年）……………	398
218	美濃路清須宿諸商品値段段書上帳（元治元年十一月）……………	401
219	知多郡岡田組村札雛形（明治二年）……………	403
	三 頼母子	
220	知多郡緒川村新兵衛所持田畑の頼母子書入質地入札の御免願書控（寛政五年十二月）……………	403
221	知多郡名和村妙法寺頼母子金預り手形（文政四年十二月）……………	404
222	春日井郡岩崎村豊年講取立帳（安政六年四月）……………	404
<b>第五章 寺院と神社</b>		
	第一節 寺院の組織と運営	
	一 寺院の組織・由緒・運営	
223	曹洞宗尾張僧録をめぐる正眼寺と雲興寺の本末争論記録（抄）（慶安元年）……………	408
224	雲興寺追放につき寺尾土佐守より正眼寺宛書状（慶安二年十月）……………	412
225	老中水野出羽守忠成曹洞宗乾坤院参詣の節の記録（抄）（文政八年十月）……………	412
226	篠島正法寺末正藏庵の寺号を丹羽郡下野原新田へ譲渡につき願書（寛延二年三月）……………	413
227	天台宗密蔵院年中行事（文久元年十二月）……………	414
228	浄土宗祐福寺山法の定める組寺など混乱のため組織再確認の申渡し書写（嘉永五年五月）……………	416
229	浄土宗祐福寺異国船渡来の節における敵国降伏祈願についての記録（嘉永七年二月）……………	417
230	成瀬隼人正による臨濟宗定光寺への藩主の代参の記録（宝暦三年正月）……………	418
231	東本願寺門主関東下向帰路の立寄りにおける疑念門徒の動向の記録（天保四年三月）……………	419
232	將軍代替り誓詞のため上京につき浄土真宗了願寺より寺社奉行所宛達書写（天保九年五月）……………	420
233	東本願寺門主下向時の小休株売買掛合い覚書（安政二年正月）……………	421
234	斎戒道場へ尼衆預けるにつき浄土宗西方寺より如意輪寺宛宗門一札（天明二年九月）……………	422
	二 式内社ほかの由緒・運営	
235	灯明田寄進につき知多郡大高村より水上姉子社神主宛証文（慶長九年二月）……………	423
236	熱田大宮司による水上姉子社支配につき誓状案（寛文十二年四月）……………	423
237	水上姉子社造営記録（抄）（貞享三年）……………	424
238	水上姉子社社人久米監物社内白鳥山の平山扱いをめぐる吟味を求める願書写（抄）（延享二年五月）……………	426
239	志水甲斐守より水上姉子社への雨乞い祈願依頼についての記録（抄）（天明五年六月）……………	427
240	知多郡師崎村羽豆神社寄進帳（抄）（寛永年間）……………	429
241	知多郡師崎村羽豆神社藩主伊勢参宮帰国時の参拝などの記録（抄）……………	431
242	知多郡師崎村羽豆神社千賀与八郎鯨船大漁祈禱についての記録（天明六年正月）……………	432
243	春日井郡印場村渋川神社由緒書上帳（寛政六年十月）……………	433

244	別格由緒を理由に一之問詰への変更を求める清須御園神明社神主よりの再願書写(嘉永二年二月)……………	434
245	松平君山考証による知多郡武雄神社の由緒書付(宝暦五年六月)……………	436
	三 神職身分	
246	水上姉子社社人久米弥五左衛門による熱田大宮司宛宗門改帳控(元禄七年三月)……………	437
247	水上姉子社社人久米監物宗門自分一札を求める願書控(安永二年二月)……………	438
248	村方五人組を離れ自分一札を求める神職連中より寺社奉行所宛願書控(文政三年九月)……………	438
249	万里小路家にて官位周旋につき在京用達より清須御園神明社神主宛書状(抄)(文政頃)十二月……………	440
250	熱田大内人による神道装束免許状(天保二年二月)……………	440
251	熱田大宮司千秋駿河守離檀一件につき曹洞宗尾張僧録正眼寺宛永平寺監院返書(天保十二年十二月)……………	441
252	神葬祭許可につき神職組合申合せの社中規則写(嘉永元年四月)……………	442
253	劍術稽古の師範派遣依頼につき知多郡内神職組中より寺社奉行所宛願書写(文久三年二月)……………	446
	第二節 地域社会と寺社	
	一 キリシタン禁制	
254	知多郡小鈴谷村宗門改帳写(抄)(寛文八年二月)……………	448
255	愛知郡本地村次右衛門子息死去の節他宗寺院へ焼香依頼につき万福寺宛詫び状(寛文十一年八月)……………	452
256	知多郡亀崎村海潮院檀家取扱いにつき曹洞宗乾坤院宛誓約書(延宝二年三月)……………	452
257	春日井郡内津村キリシタン類門改帳(享保七年三月)……………	453
	二 広域の神社祭祀	
258	竜泉寺馬の塔における取締りのため役人出張を求める密蔵院役僧よりの願書写(五月)……………	454
259	熱田社への神馬・馬の塔・棒の手奉納についての春日井郡上条村林金兵衛の記録(慶応三年十月)……………	455
260	愛知郡高針村馬の塔での寺院門前鉄砲使用をめぐる対立についての記録(天保二年九月)……………	457
261	愛知郡ほか御嶽祭祀の記録(文政十年十月)……………	460
	三 地域に根ざす信仰	
262	立山檀那場争いにつき申渡し書(慶長九年六月)……………	464
263	富士山川口御師三浦越後守檀那帳(抄)(寛文八年九月)……………	464
264	知多郡小鈴谷村盛田久左衛門三禅定巡拝の旅日記(延宝四年六月)……………	467
265	富士山・白山両先達出入につき密蔵院より知多郡西阿野村高讀寺宛申渡し書写(貞享四年十月)……………	473
266	富士山・白山両先達出入につき知多郡大野村松栄寺より密蔵院宛願書写(元禄二年八月)……………	473
267	三禅定道中にて知多郡寺本の伝六落馬負傷につき加賀国金沢問屋より宿継依頼状写(文化九年六月)……………	474
268	津島御師による知多郡檀那場八か村二十年季にて譲り渡し証文(文化三年十一月)……………	474
269	秋葉山知多郡内巡村における接遇の記録(文久三年九月)……………	475
270	俗人が加持祈禱することを禁じる寺社奉行所よりの触書写(安政二年八月)……………	477
271	知多郡中島村ほか陰陽師書上(文化九年二月)……………	477
272	軍員御用のため五人組を離脱し宗門自分一札を求める願書写(安政三年二月)……………	479



273	三宝院門跡入峰の供奉参勤を命じる清寿院より当山派修験宛触書写(寅八月)……………	479
274	大峰山登山における宿坊の変更を求める知多郡内檀家よりの口上書写(天保八年二月)……………	480
<b>第六章 生活</b>		
<b>第一節 家</b>		
一 由緒と家格		
275	尾張藩主斉荘初入国の節の御目見の記録(抄) (天保十一年二月)……………	484
276	春日井郡和泉村百姓岡崎良助倅に対する苗字許可願写 (弘化四年から嘉永元年) (慶応三年十二月)……………	490
277	知多郡成岩村医師馬嶋鎌造の帯刀許可願写(慶応三年十二月)……………	492
278	春日井郡小牧村江崎祐八家由緒書(文久元年六月)……………	493
二 家の相続		
279	愛知郡香掛新田中島金石衛門調達金御返済金の内で新金上納に充当を求める願書写(安政二年三月)……………	503
280	知多郡大谷村庄右衛門家の跡式相続に関する願書写 (安政五年二月)……………	506
281	知多郡半田村中野又左衛門家の家訓(安政五年)……………	509
282	知多郡東阿野村医師三田無忍忠純の遺言書(安政六年五月)……………	510
283	春日井郡下小田井村六軒町箕浦家分家の節の費用書上 (寛政十一年四月)……………	511

<b>第二節 生涯</b>		
一 人の一生		
284	春日井郡安井村平沢家へ女子を貰い受ける節の誓約書控 (文政六年九月)……………	513
285	知多郡中須村大岩彦太郎の一代記(抄)……………	513
二 通過儀礼		
286	知多郡緒川村戸田家出産見舞い受納帳(文政十三年十一月)……………	520
287	春日井郡下大留村稲垣家の子供たちへの抱瘡見舞いの記録 (嘉永三年二月)……………	523
288	知多郡大野村平野家への嫁入りの記録(安政六年九月)……………	526
<b>第三節 暮らし</b>		
一 暮らし		
289	知多郡小鈴谷村久右衛門召使の者共の盜難品書上写 (享和元年二月)……………	531
290	知多郡小鈴谷村与右衛門より横須賀代官所宛盜難品届書写 (文政六年六月)……………	532
291	知多郡小鈴谷村伝三郎掛り人つやより横須賀代官所宛盜難品届書写(元治元年七月)……………	533
292	建具および家具を質物とした借用証文(文政十年十二月)……………	533
293	知多郡東阿野村三田家屋敷を建て替える節の記録 (嘉永元年十一月)……………	534
294	春日井郡内津村における父母孝行の報告書にみられる食生活の記録(安政元年九月)……………	535
295	知多郡大高村の髪結い甚三郎が新田に移住する節の誓約書 (慶応四年九月)……………	536

二 働く

296	三河国碧海郡高取村庄助知多郡東阿野村三田家手代奉公人と るにつき請状(慶応元年七月)……………	537
297	知多郡東阿野村三田家の下男および下女に対する定書……………	538
298	知多郡小鈴谷村盛田家の奉公人に対する定書……………	540
	三 楽しむ	
299	知多郡乙川村からの伊勢参詣の記録(弘化四年四月)……………	541
300	知多郡岡田村竹内斧三郎より江戸逗留中の竹内源助らへの書状 (四月)……………	544
	四 一年の暮らし	
301	知多郡東阿野村三田家における鏡餅の供え場所の記録 (天保九年十二月)……………	546
302	春日井郡内津村の暮らしの記録(抄)(弘化五年正月)……………	547
303	知多郡岡田村における年中行事日記(文久元年四月)……………	552

第七章 社会

第一節 集団・身分

	一 さまざまな身分	
304	不浄を取り扱うささらの有無の吟味を指示する郡奉行よりの触 書(享保十年五月)……………	560
305	番人弟を百姓に取立てたきにつき知多郡寺本の百姓より横須賀 代官所宛願書(文政四年二月)……………	560
306	知多郡成岩村えたの他領稼ぎに関する鳴海代官所宛届書 (安政二年六月)……………	561
307	知多郡横須賀組十か村の番非人の剣術稽古に関する横須賀代官 所宛届書(安政三年十一月)……………	561

308 自分所持の山に居住する非人追放につき知多郡植村弥平より村  
方役人宛請書(万延元年九月)……………

309 鳴海陣屋檻番のため愛知郡および知多郡村々の番人に出頭を命  
じる廻状(慶応二年五月)……………

310 春日井郡下市場村の猿引および彫摺の宗門改帳  
(慶応三年二月)……………

二 社会的諸集団

311	知多郡村木村南組の若者組掟書(天明元年閏五月)……………	565
312	知多郡小鈴谷村出身の盲人に関する横須賀代官所宛届書控 (文化十年五月)……………	566
313	知多郡東阿野村三田家の葬儀における座頭への配当の記録 (安政六年・万延元年)……………	566
314	若者組差止めに対する知多郡宮津村南組より同村役人宛請書 (慶応四年七月)……………	566

第二節 社会の動揺と秩序

一 さまざまな事件

315	春日井郡清須山王社境内における黄金発見の記録 (享保十一年四月)……………	567
316	知多郡よりの他国稼ぎにおける喧嘩などを禁じる横須賀代官所 触書(文政二年七月)……………	569
317	春日井郡土器野新田坂町における火災に関する調査を求める願 書(慶応二年九月)……………	570
	二 社会の動揺・変容	
318	春日井郡岩崎村丹羽家の日記(抄)(天保六年から明治六年) ……………	572
319	知多郡東阿野村三田家の災害と加茂一揆の記録(天保七年) ……………	591
320	愛知郡杏掛新田百姓欠落につき鳴海代官所宛届書控(巳六月) ……………	592

	三 秩序の維持	
321	知多郡成岩村ひさおよび小野浦村かのに対する孝子表彰の記録 （天明元年三月から四月）……………	593
322	細井平洲の講釈開催を求める知多郡古場村ほかより横須賀代官 所宛願書写（天明四年正月）……………	595
323	知多郡乙川村質素儉約に関する申合せ書写（文政八年六月）……………	596
324	知多郡へ入り込む勸化人に対し横須賀町方および鳴海宿での取締りを求める願書写（天保四年八月）……………	601
325	知多郡東阿野村の難渡者に対する夫食割り渡しの記録 （万延二年正月）……………	602
326	知多郡常滑組村々の非常時の備えに関する横須賀代官所宛請書 写（元治元年七月）……………	605
<b>第三節 幕末期の情勢</b>		
一 海防		
327	知多郡瀬木村に設置された遠見番所に関する高札写 （寛政五年五月）……………	606
328	知多郡一色村の砲台設置予定場所検分の記録（嘉永三年五月）……………	607
329	知多郡東端村および師崎村の烽火台試用に関する横須賀代官所 よりの廻状写（安政二年二月）……………	608
330	異国船渡来の節に動員される人数および馬数などに関する定書 写……………	608
331	海防に動員される節の腰兵糧を食べる場所などの定書写……………	611
二 政治情勢と地域		
332	大坂湾へのロシア船来航を伝える書状（安政元年九月）……………	615
333	愛知郡岩作村における和宮下向に伴う諸負担の記録 （文久元年十二月）……………	616
334	江戸の打ちこわしを伝える知多郡岡田村竹内源助宛書状 （慶応二年六月）……………	618
335	知多郡八ッ屋新田御札降りの記録（慶応三年九月）……………	619
336	戊辰戦争の戦況を伝える春日井郡下大留村稲垣宮次郎宛書状 （明治元年十月）……………	628
337	知多郡小鈴谷村甚吉の新兵隊への召し抱えを求める南郡役所宛 願書写（明治二年十月）……………	630
<b>第八章 文化</b>		
一 節 教育と嗜み		
一 教育		
338	知多郡上野間村大仙寺無相庵および蒙山筆子の入門記録 （天保四年二月）……………	632
339	愛知郡梅森村眺景寺の学場規則（慶応三年六月）……………	636
二 書籍		
340	知多郡東阿野村三田家の蔵書目録（寛政九年）……………	638
341	春日井郡岩崎村丹羽家宛の書籍送付に関する書状（五月）……………	641
三 諸芸		
342	南郡雅集詩歌連誹琴棋書画茶会のご案内状（亥正月）……………	642
343	非常守下裁許人任命および農兵徴発に伴う清須村での武芸修行 に関する記録（文久三年）……………	643
第二節 文芸		
344	帯梅撰俳諧一枚刷（文化十三年二月）……………	650
345	巨扇歳旦（天明七年正月）……………	650
346	春日井郡勝川村長谷川家に伝わる狂俳投句料の受取記録（抄） （天保七年）……………	652
346	知多郡卯之山村最勝寺への奉納俳諧額（天保十三年十一月）……………	654

347 狂俳相撲競（弘化四年十月）……………656

第三節 医療

348 窮民への仙寿散の施薬を求める知多郡東阿野村三田無忍より鳴  
海代官所宛願書写（享和二年九月）……………657

349 氏子などへ痲瘡薬延寿丸の施薬を求める清須山王社神主より寺  
社奉行所宛願書控（天保九年四月）……………658

350 知多郡東阿野村三田家による黄疽治療の施薬記録  
（天保十一年から十四年）……………658

351 村方の医師取締りに関する触書など写（安政四年から五年）……………660

352 知多郡東阿野村三田無忍の法橋願いに伴う手続きに関する上田  
元孝よりの書状……………664

第四節 人々の楽しみと来訪者

一 名古屋近郊の行楽地

353 知多紀行（抄）（享和元年）……………666

354 美濃路清須宿神明町の火花興行の記録（文政八年六月）……………673

355 枇杷島堤の桜を猷木した節の記録（弘化二年）……………679

356 小田切春江作「知多一郡弘法大師巡拝記」の広告……………681

二 興行

357 知多郡村木村での狂言興行時の祝儀受納帳（文久三年九月）……………682

358 春日井郡清須山王社境内での二百日間芝居興行許可を求める願  
書控（戊正月）……………690

359 上街道小牧宿での富くじ興行再興許可を求める願書写  
（戊八月）……………691

第五節 祭礼と民俗

一 万歳

360 信濃国などの檀那場を質物とした知多郡馬場村万歳職の借用証  
文（安永六年三月）……………694

361 伊勢国桑名藩領での営業などに関する知多郡寺本の万歳職惣代  
よりの願書写（嘉永四年正月）……………694

二 祭礼

362 尾張藩領内村々の祭礼に関する調査報告書（宝暦七年八月）……………697

363 知多郡宮津村南組の山車の製作および修繕の記録（抄）  
（文政五年から六年）……………707

364 知多郡宮津村北組の祭礼および山本に関する捉書  
（天保六年八月・元治元年三月）……………710

三 農耕儀礼

365 知多郡西浦十四か村の虫供養の由来書（宝暦四年八月）……………712

366 知多郡寺本四か村の雨乞いおよび虫供養の記録（抄）  
（文政四年から五年）……………713

367 知多郡生路村の雨乞いの記録（抄）（嘉永五年から元治元年）……………715

第九章 海村

第一節 海をめぐる支配

一 海と漁業の支配

368 小あぐり網新調につき知多郡中島村長三郎より横須賀代官所宛  
願書写（天保九年七月）……………720

369 知多郡名和新田ほか貝類漁勝手次第を求める横須賀代官所宛  
願書写（安政五年五月）……………720

370 農繁期における藻草取り停止につき横須賀代官所より触書写  
（十月）……………721

384	知多郡中島村栄助船三河国幡豆郡平坂湊沖にて破船につき浜仕舞一件(天保三年九月)……………	734
383	知多郡朝倉村沖にて三河国碧海郡高浜村彦藏船破船につき浜仕舞一件(文政十二年三月)……………	730
382	知多郡常滑村庄屋留木数不足吟味のところ隠し置く者なき旨請書控(文政八年八月)……………	730
381	知多郡寺本ほか四か村より流材取集め費用をめぐる横須賀代官所宛願書写(文化十二年八月)……………	729
380	知多郡小鈴谷村久左衛門浜方年寄役就任につき心得方覚書(文化六年二月)……………	727
	三 破船の救助と留木	
379	知多郡上野間村蜻漁免許を求める横須賀代官所宛願書写(文化十四年八月)……………	726
378	知多郡古見村ほか藻草取り船への新規船役銀賦課迷惑につき船手役所宛願書写(文化九年正月)……………	725
377	知多郡小鈴谷村不漁のため休漁につき地引網連上銀免除を求める願書写(元文三年二月)……………	725
376	知多郡西之口村ほか七か村年貢塩積送り方法の変更につき大野村庄屋より願書写(寛永十九年五月)……………	725
375	藩主知多郡大野村御成りの節御用肴届け方につき覚書……………	724
	二 役の負担と運上	
374	知多郡崎崎村川渡えなどにつき千賀与八郎より申渡し書写(戌六月)……………	724
373	小あぐり漁が鯛漁に差障りの件お尋ねにつき千賀与八郎返答書下書(十月)……………	722
372	鯛大網漁に支障となる小あぐり漁禁止につき千賀与八郎より知多郡村々宛触書写(丑七月)……………	721
371	篠島および日間賀島へ服喪による漁業停止の通知を求めた書状(九月)……………	721

第二節 海村の暮らし

一 漁業と経営

385	知多郡小鈴谷村鯛網新調および地引網修繕につき借用証文(寛文九年十二月)……………	738
386	知多郡小鈴谷村浦方百姓不漁のため困窮につき夫食代借用を求め願書控(元禄十六年十月)……………	738
387	千賀氏家臣川合家戊午御肴御用請払勘定帳(安永八年十二月)……………	739
388	海鼠腸代米勘定帳(天明六年十二月)……………	740
389	生海鼠仲買株譲渡につき横須賀代官所より触書写(二月)……………	742
390	魚問屋潰れの後始末の依頼に関する書状……………	742
391	鯨売立てにつき代金支払勘定帳(抄)(享保二十一年正月より三月)……………	743
392	知多郡小鈴谷村鯨売立て代金勘定帳(文政三年四月)……………	747
393	佐治宇兵衛伊勢参宮につき鯨集銭より立替えの覚書(辰四月)……………	752
	二 漁場と浜をめぐる争い	
394	知多郡小野浦および内海浦沖合の漁場争論一件(文化九年二月)……………	753
395	知多郡亀崎村と三河国渥美郡古田村ほかとの沖合漁場争論取替し内済証文控(文政十年閏六月)……………	755
396	浦境につき知多郡半田村と同郡成岩村との取替し証文写(宝永二年四月)……………	757
397	知多郡多屋村と同郡西之口村との砂浜付場争論についての裁許状写(宝曆八年十二月)……………	758

第三節 島の暮らし

一 島民の暮らし

398 知多郡師崎村庄屋篠島および日間賀島への渡船賃書上  
 (丑五月)……………761

399 島民困窮につき夫食下渡しを求める知多郡篠島村より川合定右衛門宛願書(明和九年四月)……………762

400 篠島および日間賀島へ拝借金貸渡しにつき申渡し書(十二月)……………762

401 日間賀島鰯不漁のため拝借金延納につき給人宛願書(九月)……………763

402 知多郡篠島村長崎俵物会所役人廻村の節生海鼠および鮑漁につき書上写(天明五年四月)……………764

403 知多郡篠島村日間賀島漁師との入組につき内済一件留  
 (天明八年十二月)……………765

404 篠島および日間賀島の石猿尾修復費用負担を領主に求める川合定右衛門宛願書写(寛政四年七月)……………768

405 篠島諸商売書上(寛政十年四月)……………770

406 篠島船改につき船数書上(寛政十年四月)……………770

二 流人の暮らし

407 篠島流人記録写(寛永四年以降)……………772

三 島の記録

408 篠島および日間賀島検地につき覚書写(抄)  
 (享保十二年三月)……………780

409 伊勢内宮へ勧請を求める篠島社人辻三太夫より伊勢内宮長官宛願書写(抄)(寛政十二年六月)……………789

第十章 廻船

第一節 船をとりまく環境

一 船の支配

410 知多郡一色村船数および積載石数改帳(明和二年三月)……………792

411 知多郡一色村講中が献納した熱田尾頭町住吉社拜殿前常夜灯銘文(寛政元年五月)……………796

412 知多郡尾崎村東庄屋支配分船役銀付船数帳(弘化五年二月)……………797

二 廻船仲間・諸規定

413 常盤講ほかへの御恵金受納帳(元治二年八月)……………803

414 内海・常滑・野間船の塩取引に関する定書写(万延元年三月)……………804

415 知多郡内海東端村および西端村船えびす講の定書  
 (天明六年十月)……………808

416 内海船仲間えびす講定期集会の改正規定書(明治十三年八月)……………811

417 常滑船仲間常盤講の定書(天保十一年三月)……………811

418 常滑船仲間常盤講の掟書(嘉永四年正月)……………812

419 常滑船仲間常盤講の掟書(慶応二年十月)……………812

420 尾張・三河の酒積船書上(慶応三年五月)……………813

421 知多郡半田村社人湊左棒杭の由緒をもって年頭御目見仰せつけられたき旨の願書抄(亥三月)……………815

422 津々浦々商法記(抄)……………816

三 買船と造船

423 知多郡東端村新吉いさは船を担保の借用証文および同船売却による担保差替え証文(文政二年七月)……………823

424 知多郡半田村船作事代受取書上……………825

第二節 船の航海と取引

一 廻船経営と取引

425	御城米積船差出し困難につき御有免を求める知多郡船持惣代より御船奉行所宛願書写(西八月)……………	826
426	野間船福吉丸水主万寛帳(抄)(文化十五年正月)……………	827
427	野間船福吉丸売買仕切帳(抄)(文政四年正月)……………	829
428	知多郡小鈴谷村盛田久左衛門ほか共有の富士宮丸勘定帳(抄)(天保十四年)……………	832
429	名古屋塩問屋知多屋新四郎蔵入帳にある富貴船利七分ほか書上(安政七年)……………	834
430	常滑船福周丸運賃帳(慶応三年十月)……………	838
431	撰津国尼ヶ崎丹波屋七兵衛ほかより伊勢丸定吉船への酒造道具積み手板覚(慶応四年四月)……………	843
	二 伊勢湾をめぐる船	
432	知多郡東端村船乗り刈谷藩領にて出船禁止につき船などの引取りを求める願書控(文久元年七月)……………	850
433	瀬取船にては御用船務めがたきにつき知多郡亀崎村より船手役所宛用捨の旨願書写(文久三年六月)……………	851

第三節 海難と信仰

一 難船

434	知多郡小鈴谷村久太夫伊豆にて難船のため乗り捨てにつき断り状控(寛文五年正月)……………	852
435	知多郡常滑村船頭津右衛門難船一件(元文三年五月)……………	852
436	常滑船福周丸遠江国城東郡佐倉村にて難船浦手形(明治三年二月)……………	853

二 船と信仰

437	讃岐国金毘羅宮絵馬堂豊石寄進連名帳(文久三年十一月)……………	855
438	内海船仲間えびす講宛伊勢神宮遷宮御木曳用に芋綱の拝借を願う書状……………	857